

2026 度天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻【保健師コース】  
一般選抜（I 期） 「出題の意図」・「解答のポイント」

問題 1

【出題の意図】

公衆衛生で重要となる健康寿命を正しく理解したうえで、グラフを読み取り、さらに、健康寿命の延伸に向けての基本的な考え方を理解し、具体的に活動を考えられることは、保健師教育を学ぶ基礎的知識として求められる。

【解答のポイント】

問 1 健康寿命とは何か述べなさい。

- ・健康寿命の定義を述べていること。

問 2 図 1 から、読み取った内容を述べなさい。

- ・性別に、平均寿命と健康寿命について推移を含めて詳細に述べていること、平均寿命と健康寿命の差についても述べていること。

問 3 問 2 で読み取りから、保健医療が目指すべき方向性とその理由を述べなさい。

- ・平均寿命と健康寿命の差の意味するところを述べ、その差を縮めていくことが、介護予防や QOL の向上のために重要であることを述べていること

問 4 問 3 で考えた目指す方向性にむけて取り組む必要のある対策について述べなさい。

- ・生活習慣病を改善し、予防すること、健診等により早期発見し、早期治療とその継続により悪化を防止すること。また、高齢期の介護予防、ロコモ予防、認知症予防が健康寿命の延伸に影響すること、運動や交流の場づくり、社会的孤立の防止、地域のつながりを促進し、社会参加を促すことが健康寿命の延伸に関わる活動であることを述べていること
- 具体的には、食事、運動、睡眠とメンタル、いきがい、つながり、孤立防止、社会参加の促進、健診と早期発見、定期受診の継続などの視点が網羅され述べられていると良い

問題 2

【出題の意図】

主な死因別死亡の推移から死因を推測できる力は、疫学保健統計の基礎知識をもち、人々の生活と健康が時代背景の中で影響を受けていることを理解し捉えていく公衆衛生の基礎的な知識である。

【解答のポイント】

問 1 図 2 の A~E にあてはまる死因を記入しなさい。

問 2 A の死亡率を低下させるための対策について述べなさい。

解答した死因を低下させるための対策について、述べられていること。

一次予防としての生活習慣の改善、二次予防としての検診や早期治療等について述べられていること

### 問題 3

#### 【出題の意図】

地域で会うことの多いパーキンソン病を理解するために、運動症状と非運動症状についての基礎的知識を問う問題である。さらに、疾患と治療の基礎的知識を踏まえ、在宅療養するパーキンソン療養者と家族の看護過程の展開に必要な基礎的能力を問う問題である。

#### 【解答のポイント】

問1 パーキンソン病の運動症状を4つあげ説明しなさい。

- ・安静時振戦、無動、筋強剛、姿勢反射障害、動作緩慢から4つあげて、症状の説明をしていること

問2 パーキンソン病の非運動症状を4つ以上あげて説明しなさい。

- ・自立神経症状、認知障害、睡眠障害、嗅覚障害、精神症状、幻覚や錯覚、妄想などの症状、疲労や疼痛から、4つをあげて、症状の説明をしていること

問3 Aさんの現在の状況を疾患、治療をふまえてアセスメントし、その内容をのべなさい

- ・アセスメントに以下の視点が述べられていること、
- ・パーキンソン病の診断を受け、内服治療を継続していること、ホーンヤールⅢの現在の症状、生活への影響等のアセスメントが述べられていること
- ・前回受診時に、抗パーキンソン薬が増量されているので、症状の変化や日内変動、日常生活への影響等を観察していく必要があること
- ・現在の症状から、バランスを崩しやすい状態で、転倒のリスクがあること
- ・動作に時間を要し、動くことに消極的な言動、冬期間の生活状況から活動性が低下していること、さらなる筋力の低下が予測されること
- ・自力摂取しているが、むせることがあり、誤嚥による窒息や誤嚥性肺炎のリスクがあること
- ・夜間のトイレ、入浴、食事の支度や介助、掃除等、夫に介護や家事の負担がかかっていること
- ・パーキンソン病の症状による日常生活や言葉の制限、転倒の恐怖や夫への遠慮等から活動性が低下し、家事も夫に依存している状況にあり、Aさんの自尊感情、意欲は低下していること

問4 Aさんと家族のアセスメントから考えられるヘルスニーズ（看護問題）を列挙しなさい。

- ・アセスメントで考えたヘルスニーズ（看護問題）に関連する要因を含めた表現になっていること。 述べ方の例：○○による◇◇

- ・実在型健康課題、リスク型健康課題、ウェルネス型健康課題の側面から考えられていること

問5 優先度の高いヘルスニーズを3つ以上あげ、目標を設定し、看護計画を立案しなさい。

- ・目標は、ヘルスニーズ（看護問題）の背景を踏まえた目標が設定されていること、療養者あるいは家族の目指す状態で設定されていること
- ・看護計画は、誰が見ても実施可能な計画であること、目標を達成するために必要な援助が具体的に記述されていること、訪問時の状態をアセスメントするための観察項目が含まれていること、本人や家族の強みを活かすこと、社会資源の活用も考えられていること